

パルシステム独自の取り組みなどについて 用語解説しています。

(※1) 総事業高

供給高(組合員にお届けする全商品の総額)とその他事業収入(パルシステム手数料収入、共済受託収入等)を合計した総額。

(※2) 経常剰余金

事業剰余金に事業外収支を加えたもの。

(※3) サービス事業

葬祭事業、不用品整理、住宅事業等、パルシステム埼玉の斡旋(紹介)事業。

(※4) もっといい明日へ 超えてく

パルシステムが今まで取り組んできた「サステナブル=持続可能」なアクションについて、その価値をとらえ直し、もっと身近で、もっと世界に広がるように取り組むグループ統一運動。「自分らしく選ぼう、明日のために」「出会いに行こう、物語を見つけよう」「声にしていこう、世界を変えていこう」を行動テーマに展開。

(※5) 埼玉産直協議会『農・彩・土』

産直産地の沃土会と南埼玉産直ネットワーク、パルシステム連合会、パルシステム埼玉で構成。県内の農業と環境を守ることを目的に農業体験や交流事業を中心に活動。

(※6) パルシステムでんき

パルシステム連合会の子会社(株)パルシステム電力が開始した電力小売事業。産直産地や地域と連携して調達されたFIT電気(再生可能エネルギー)を中心とした電力供給を行っている。

(※7) パルシステム給付型奨学金

学びの意欲を持ちながら家庭環境や経済的な理由から進学が困難な若者に対して、組合員からの募金で包括的に支援する学費助成金制度。

(※8) 認知症バリアフリー宣言

「認知症の人とそのご家族が安心して暮らせる社会の実現に貢献します」という日本認知症官民協議会の趣旨に賛同し、認知症になった方やそのご家族が安心して自分らしく暮らし続けることのできる認知症バリアフリー社会の実現に向けた取り組みを推進するパルシステム埼玉の宣言。パルシステム埼玉のすべての事業所を対象とする。

2026年度事業活動方針(1次案)へ

みなさんのお声をお寄せください

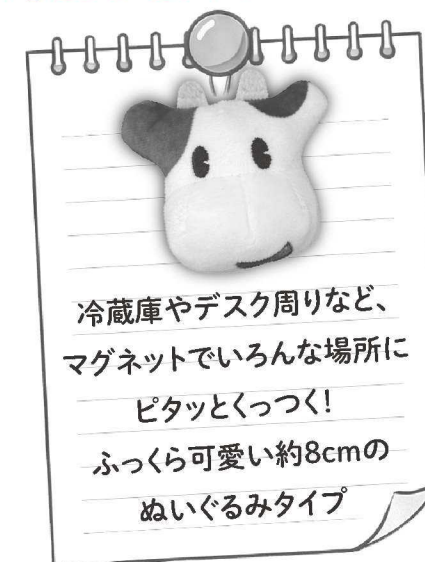
組合員のみなさんからのご意見・ご要望や社会情勢をふまえ、「2026年度事業活動方針(1次案)」を作成いたしました。この方針は、パルシステム埼玉が来年度どのような活動を行うかを定める大切なものです。

2026年度事業活動方針(1次案)についてのご意見や感想をお寄せください。

「この方針をもっと充実させてほしい」「こんな内容も盛り込んでほしい」など、みなさんのお声をお寄せください。

抽選で50名様に こんせんくんぬいぐるみ マグネットをプレゼント!

アンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で50名様に「こんせんくんぬいぐるみマグネット」をプレゼント! ※当選者の発表は、4月上旬の商品お届けをもって代えさせていただきます。



ご提出方法

右記の二次元コード(パルシステム埼玉ホームページ応募フォーム)からご意見・ご要望をお寄せください。 * 組合員番号が必要です。

WEBからの回答が難しい方は機関運営部へご連絡ください。

●締 切: 3月8日(日)

アンケートフォームは
コチラから!



2026年度パルシステム埼玉 事業活動方針(1次案)

※文中の●印は、現在調整中です。 ※注釈のつく用語は、用語解説をご確認ください。

【経 営】

- ① 変化を続ける社会環境や経営環境において、経営基盤を安定させ、総事業高^(※1)●●●億円、経常剰余金^(※2)●●億円を達成します。また、長期的な事業・活動の継続に向けて、運営体制の整備や業務効率化などの取り組みを進めます。
- ② 事業環境の変化に対応できる人材育成やキャリア形成の推進、職員一人ひとりが自ら学び続ける風土を育むため、パルシステムグループの職員交流や研修、職員の自発的な学習支援に取り組みます。
- ③ 安全で働きやすい環境を整備し、誰もが安心して働き続けられる職場を実現します。また、業務改善やデジタル技術の活用により、生産性を向上させ、職員の働く意欲を高めます。
- ④ 大宮センターの移設を着実に実行し、供給効率と業務品質の向上を実現します。また、既存センターの計画的な修繕を進めるとともに、将来に向けた配送拠点再編の検討を行います。
- ⑤ 各種情報メディアの特性を活かし、事業活動や社会貢献活動を広く発信し、パルシステムの認知度向上を図るとともに、取り組みへの共感や参加へつなげます。
- ⑥ コンプライアンス教育や情報セキュリティ教育を通じて様々なリスクの防止に努めるとともに、自然災害に対する危機管理を強化します。また、適切なガバナンス体制の整備・運用により、持続可能な組織運営体制の維持に取り組みます。

【事 業】

- ① 「おためし宅配」やインターネット加入促進等の広報強化と、組合員や諸団体と連携して新規組合員拡大●●名をめざします。また、パルくる便やアプリ、公式サイト、LINE等を活用した商品案内を充実させ、組合員の利用定着と利用促進に努めます。
- ② CO・OP共済は、デジタル技術を活用した保障提案による共済加入促進や組合員活動と連携して商品の特徴を伝える機会を広げます。また、新規加入組合員に対し「たすけあい」の意義についてのお知らせを強化し、保有件数●●件をめざします。
- ③ 組合員応対力と業務品質全般の向上に向けた教育研修を実施します。また、組合員の多様な利用スタイルに対応するため、商品カタログの配付選択制やインターネット注文の利便性向上を図り、それぞれの生活スタイルに適した利用方法を選択いただけるよう取り組みます。
- ④ 車両運転においては安全意識を最優先とし、人身事故ゼロ、物損事故の削減をめざします。通信型ドライブレコーダー等の安全機器を活用した個別研修や外部団体と連携した研修を実施するとともに、生活道路での安全運転と地域住民への配慮を徹底します。
- ⑤ パルシステム埼玉が独自に提供するサービス事業(葬祭・不用品整理等)^(※3)の認知度向上を図り、利用促進に取り組みます。また、独自に取扱う商品(震災復興支援・産地交流・地産地消商品)への理解を深める広報を通じて利用促進を図り、産地や製造業を応援します。

【組織(活動)】

- ① さまざまなライフステージや生活様式の組合員が参加しやすい企画の開催を充実させるとともに、気軽に関わることができる活動(企画運営サポーター等)を推進し、参加の機会を広げます。
- ② 地域に根ざした主体的な活動がしやすい環境を整備し、学びの機会や集いの場を広げます。

2030年ビジョン【食・農】 持続可能な食の安全と安心を守りながら、豊かな食文化と食生活を広げます。

- ① 「もっといい明日へ超えてく」^(※4)を広め、「お魚食べよう」「お米で超えてく」「お料理セット」の取り組みを通じて国内の生産者と製造業を応援し、サステナブル消費と食料自給率の向上をめざします。
- ② 食と農に関わるさまざまな課題を学ぶ機会を通して、安全・安心な食への理解を深めます。食の楽しさや大切さを実感できる食育活動を通じて、豊かな食文化を育みます。
- ③ 生産者との交流を通して産直の価値を知る機会を作り、多くの組合員に生産者の現状や取り組みへの理解を広めます。また、「公開確認会」を県内産地で開催し、生産者と組合員が理解を深める機会を作ります。
- ④ 埼玉産直協議会『農・彩・土』^(※5)と連携し、身近な地域で農業体験ができる機会を作り、地産地消を推進します。

2030年ビジョン【環 境】 一人ひとりが、地球環境に配慮した「きりかえる」行動をくらしの中に広げます。

- ① 脱炭素社会の実現に向けて、事業所における温室効果ガス排出削減と調査・研究を継続します。また、組合員への省エネ活動促進と再生可能エネルギーに取り組んでいるパルシステムでんき^(※6)の普及に取り組み、保有件数●件をめざします。
- ② 循環型社会の実現をめざし、環境に配慮した商品の選択、リユース・リサイクル活動や食品ロス削減に取り組み、組合員と共に環境にやさしくらしを広げます。
- ③ 自然共生社会の実現をめざし、里山保全活動や地域清掃、石けん生活の促進により環境保全に取り組みます。また、持続可能な未来に向けて組合員と共に耕作放棄地を活用した大豆トラスト運動を進めます。

2030年ビジョン【福祉・くらし】 助け合いの輪で、誰もがいきいきと安心して暮らせる地域社会づくりを広げます。

- ① 未来を担う子どもと若者の健やかな成長をめざし、地域での子育て層支援、パルシステム給付型奨学金^(※7)の継続、生活困窮家庭への支援等に取り組みます。
- ② 誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる社会の実現に向け、他団体と連携しながら、高齢者の豊かなくらし(心身の健康づくり、生きがい応援、認知症バリアフリー宣言^(※8)に基づく活動、消費者被害防止等)を包括的に支援します。
- ③ 障がいのある人も地域で孤立せず、社会との接点を持てるよう、障がい者の自立を支援する団体と連携し、すべての人の人権を守る社会づくりに貢献します。
- ④ 居場所づくりや、多様なテーマで世代を超えた交流の場を創出します。また、デジタルツールも活用し、リアル参加とオンラインを組み合わせた新しい組合員交流のコミュニティ形成を試験的に展開します。

2030年ビジョン【平 和】 多様性を認め合い、争いや格差のない命が大切にされる社会を広げます。

- ① 平和な社会の実現に向けた活動(ピースアクションinヒロシマ、憲法・平和に関する学習会、核兵器廃絶等)を継続し、平和の価値と重要性を広く発信します。
- ② 平和募金やハンガー・フリー・ワールドなどへの支援活動を展開し、すべての人々が平等に生きられる持続可能で公正な国際社会の構築に寄与します。また、韓国プルンドゥレ生協との子ども交流を継続的に実施します。
- ③ 市民活動支援金助成団体や困窮者支援団体等との連携により、多様な背景を持つ人々が安心して暮らせる誰一人取り残さない社会の構築をめざします。
- ④ 東日本大震災の教訓を継承し、平時からの防災意識向上と地域災害対応力強化に取り組みます。また、組合員募金、ボランティア活動などの被災地支援を継続します。